

医薬品リスク管理計画 (RMP)

本資料はRMPの一環として位置付けられた資料です

中学生以上の方, 保護者の方向け指導用資料のご案内

(小学生(6歳以上)のお子さまには, 保護者の方が本文書をよく読まれた上で服用させてください)

インチュニブ®を

飲んでいるみなさまへ

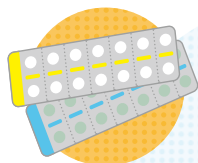
【監修】

公益社団法人発達協会 王子クリニック

院長 石崎 朝世 先生

医療法人社団倭会 こころとそだちのクリニック むすびめ

院長 田中 康雄 先生



医療関係者の先生方へ

本資料は, インチュニブ®の特徴や服薬時の注意点, 安全性情報を簡潔に記載しています。

インチュニブ®の服薬指導時に, 本資料をお役立ていただければ幸いです。

中学生以上のみなさま、保護者のみなさま
(小学生(6歳以上)のお子さまには、保護者の方が本文書をよく読まれた上で服用させていただきます)

インチュニブ®を飲んでいらっしゃるみなさまへ

インチュニブ®はこんなお薬です

- 小児のAD/HD治療薬で、**「不注意」「多動性」「衝動性」の改善**が期待されます。
- **1日1回**飲むお薬です。



【AD/HDとは】

- ・AD/HDとはAttention-Deficit/Hyperactivity Disorder(注意欠如・多動症)の略で、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び/又は多動性、衝動性を特徴とする発達障害の1つで、社会的な活動や学業の機能に支障をきたす状態をいいます。
- ・不注意、多動性、衝動性といった症状が長く続き、生活の中の活動に直接悪影響を及ぼす場合に、ガイドラインや国際的な診断基準を基に診断されます。

インチュニブ®を飲む時に気をつけること

主治医の指示通りに飲むことが大切です。

飲み忘れないように注意してください。

また、飲み忘れた場合は、主治医又は薬剤師にご相談ください。

飲むのを勝手にやめないでください。

インチュニブ®を飲むのを急にやめてしまうと、一時的に血圧が上がったり、脈拍数が増加したりすることがあり、海外においては高血圧性脳症(急激な血圧上昇で頭痛、吐き気、けいれんなどが生じること)に至った例が報告されています。



インチュニブ®の錠剤は、割ったり、砕いたり、すりつぶしたりせず、そのままかまずに、お水やぬるま湯で飲んでください。



他にも飲んでいるお薬があれば、主治医又は薬剤師にお伝えください。

お薬の効果が変わったり、副作用が出る可能性があります。



武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
くすり相談室 TEL 0120-566-587

インチュニブ®の注意すべき副作用



血圧、脈拍数のこと

血圧低下／低血圧(血圧が下がる)、徐脈(脈拍数が減少する)があらわれる可能性があります。

対策・注意点

- インチュニブ®を飲み始める前と飲んでいる間は定期的に、血圧や脈拍数の測定が行われます。
- 脱水状態になると血圧が低下する可能性がありますので、脱水にならないよう、水分を十分にとってください。
- 脱水の症状(のどの渇き、ぼーっとする など)があらわれた時は、経口補水液で水分と電解質を補給するなどの処置をとってください。
- インチュニブ®を飲むのを急にやめしまうと、一時的に血圧が上がったり、脈拍数が増加したりすることがあり、海外においては高血圧性脳症(急激な血圧上昇で頭痛、吐き気、けいれんなどが生じること)に至った例が報告されています。

失神のこと

気分が悪くなる、視野がぼやけるなどの症状や、失神(気を失う)があらわれる可能性があります。

対策・注意点

- 気分が悪くなる、視野がぼやけるなどの症状や、失神があらわれた場合は、しばらく安静にいただき、すぐに主治医にご相談ください。

眠気のこと

眠くなる、体がだるい／ぼーっとするなどの症状があらわれる可能性があります。

対策・注意点

- インチュニブ®を飲んでいる時は、高い所に登る、組体操、倒立などの遊びや行動にご注意ください。(なお、危険を伴う組体操などはしないでください)
- インチュニブ®を飲んでいる時は、自動車や二輪車などの乗り物の運転はしないでください。

上記以外にも、いつもと違う様子がみられたら、すぐに主治医又は薬剤師にご相談ください。



製造販売元

武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

【文献請求先及び問い合わせ先】

武田薬品工業株式会社 くすり相談室

フリーダイヤル 0120-566-587

受付時間 9:00～17:30 (土日祝日・弊社休業日を除く)